

1986年8月29日(金)

毎週金曜日

夜七時より

市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

みんなでつくりう

みんなの会館

三人よれば何とかの知恵

# 夜間学校ニュース

1986年8月29日  
西成区萩之茶屋2の  
8月9日 旅路の里氣付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人の  
指紋押なつ拒否断固支持!  
定住外国人に市民権を

## 新今宮小中学校跡地利用を!

子ども実態調査は  
何だったのか。。。

釜ヶ崎夏祭りが盛大にお

一なされた次の週に子ども  
も実態調査”が実施された。

テレビや新聞で報道され

たし、調査にでくれた仲間、  
間、見た仲間も多いと思う

り、子ども実態調査と行事  
が重なり、疲れたりともあ  
つて、無断で休んでしまっ  
た。深くお詫びする。ゴメ  
ンなさい。)

さて、知らない仲間もい  
ると思うので、あらためて、  
子ども実態調査とは何だっ  
たのか、紹介しよう。

「あいりん」へ  
安い宿泊所を

大阪市 遠矢 雷

(労働者 55歳)

（先週の夜間学校は、夏祭り  
ので、十八、十九日に何を  
目的として、どのようにお  
こなされたか、知つていろ  
う。仲間も多いこと鬼う。  
ンターの東南にあつた学校

で、今は生徒がいなくなつ  
て廃校となり、建物だけが  
残っている。

もともとは釜ヶ崎の不就

は、朝日新聞に  
掲載されていた  
もの。労働者と

あるが、田舎で  
はないようと思われる。

1986年8月25日朝日新聞声欄  
紙（地方版）に掲載されてい  
た。「かけっこできる広場が  
ほしい」と子供たちは訴え  
ていたが、いずれも朝夕、目に  
し耳にする実情であった。

あいりん地区（釜ヶ崎）には  
数カ所の公園があるが、ほとん  
ど労働者や野外宿泊者らに占拠  
され、子供たちの遊んでいる姿  
は見られない。しかし、子供た  
ちが遊びにければ労働者が遊  
びを妨害するようなことはしな  
い。むしろ隣の方に体を移し  
て、遊び場所を提供している情  
景をよく目にする。一般社会の  
人々は、あいりん地区労働者  
たちを服装や言葉遣いから受け  
る印象で悪人視するが、彼らこそ  
本當の善人ではなかろうか。

その確たる証拠が、一般地方で  
は生きられない人たちが数多く  
集まっているのである。この  
さるよみ切望する。

地区の労働者たちは棒組みに安  
心せず、貧困の中で自由といふ  
ぜいたくを味わっているといえ  
よう。

今回のアンケート調査結果を  
十月初めにまとめて保育、給  
食、宿泊などの総合センターづ  
くりを大阪市に求めるようだ  
が、一労働者として宿泊施設に  
ぜひ力を入れていただきたい。

今、あいりん地区は、宿泊ホ  
テルの増築ブームである。三層  
一間で月家賃が四万五千円から  
六万円である。一層少々でも二  
万三千円から二万六千円といふ  
高家賃である。調査をした「新  
今宮小、中学校の跡地を考える  
会」（代表・岡林治支部長）  
は、日雇い労働者の街であるこ  
とを念頭において、有意義な活  
用効果のある計画を立案して下

